



平成19年1月29日

各 位

会 社 名 東洋製罐株式会社
代 表 者 名 取締役社長 三木 啓史
(コード番号 5901 東証・大証 各第1部)
問 合 せ 先 執行役員総務部長 清水 泰行
(TEL 03 - 3508 - 2113)

当社連結子会社(東洋鋼鋅株式会社)の
特別利益・特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社連結子会社である東洋鋼鋅株式会社は、平成19年3月期の連結決算および個別決算において特別利益(退職給付信託設定益および投資有価証券売却益)ならびに特別損失(固定資産臨時償却費)の計上を見込んでおります。また、同社が平成18年11月9日公表の平成19年3月期(平成18年4月1日から平成19年3月31日)の通期業績予想(連結・個別)を修正しましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

なお、当社の通期連結業績予想につきましては、平成19年3月期第3四半期の決算発表時(平成19年1月30日予定)に公表する予定であります。

(別紙) 東洋鋼鋅株式会社の開示資料

以 上

平成19年1月29日

各位

会社名 東洋鋼鋅株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田中 厚夫
 (コード番号 5453 東証・大証第1部)
 問合せ先 総務部長 岡内 孝静
 (TEL 03-5211-6200)

特別利益・特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成19年3月期の連結決算および個別決算において、下記の特別利益の計上および有形固定資産の減価償却の見直しによる特別損失の計上を見込んでおりますのでお知らせいたします。

あわせて、平成18年11月9日に公表しました平成19年3月期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別利益について

当社は、将来の退職給付原資を確保するため、当社が保有する株式の一部を退職給付信託に追加拠出すること、また、資産の効率化を図るため、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを予定しております。

なお、損益に与える影響としましては、平成19年3月期において退職給付信託設定益約20億円、投資有価証券売却益約3億円を特別利益に計上する見込みです。

2. 特別損失について

当社及び一部の連結子会社は、有形固定資産の減価償却について、取得価額の5%まで償却していましたが、当連結会計年度から備忘価額(1円)まで償却することに変更いたします。これは、有形固定資産の減価償却終了後の処分可能価額が概ね零に近く、処分費用も発生するという現状を踏まえたものです。

この変更に伴い、過年度分について臨時償却を行い、単独では約56億円、連結では約59億円の特別損失を計上する見込みです。

3. 業績予想の修正

(1) 平成19年3月期連結業績予想数値の修正(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)(平成18年11月9日発表)	127,300	3,600	1,800
今回修正予想(B)	130,100	4,500	500
増減額(B-A)	2,800	900	1,300
増減率(%)	2.2	25.0	72.2
(ご参考)前期実績(平成18年3月期)	134,059	163	479

(2) 平成19年3月期個別業績予想数値の修正(平成18年4月1日~平成19年3月31日)
(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)(平成18年11月9日発表)	109,000	2,500	1,700
今回修正予想(B)	111,000	3,000	800
増減額(B-A)	2,000	500	900
増減率(%)	1.8	20.0	52.9
(ご参考)前期実績(平成18年3月期)	116,035	1,370	431

(3) 修正の理由

通期の予想につきましては、売上高、経常利益は販売数量の増加や製造費用、諸経費の削減の推進等により、前回の予想を上回る見込みであります。また、上記のとおり特別利益および特別損失の計上を見込んでおり、平成18年11月9日に公表した業績予想を修正いたします。

上記の業績予想は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上